

事業名	社会資本整備総合交付金事業
路線・河海名	一般国道 356号 (篠原拡幅)
工事箇所	香取市 佐原イ ～ 篠原

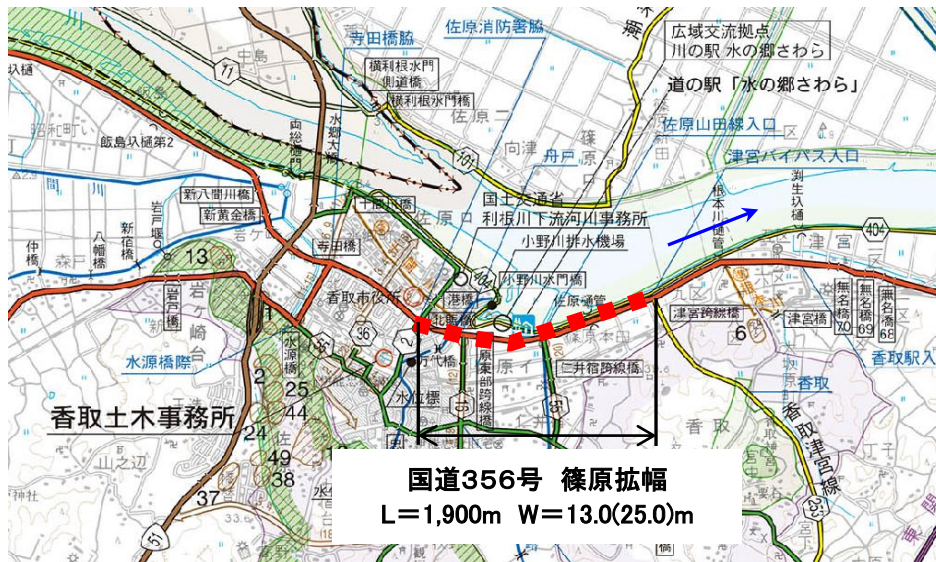
銚子市を起点に東庄町、香取市、神崎町、成田市、栄町、印西市を経て我孫子市に至る国道356号は、県北部地域の経済活動や観光産業等を支える全延長約96kmの重要幹線道路である。平成27年6月には、首都圏中央自動車道が東関東自動車道と常磐自動車道を結び、首都圏中央連絡自動車道と接続する国道356号は沿線各地の企業立地や人口交流等に一層重要なネットワーク路線となった。

当事務所管内では、通過交通に対処し市街地の混雑緩和と歩行者の安全確保を図るため、利根川右岸堤に盛土するバイパス整備を下総神崎工区、佐原工区、小見川東庄工区と継続的に推進してきた。

篠原拡幅は、香取市中心市街地で混雑著しい、東関東自動車道へのアクセス路線である香取津宮線から佐原市街地間1,900mの4車線化を図るものである。当工区では、国土交通省利根川下流河川事務所の計画する高規格堤防が整備され、平成20年度末に600mを暫定2車線で供用し一定の効果を得ているとともに、平成21年度に河川防災ステーションの設置や道の駅「水の郷さわら」がオープンし、賑わいをみせている。

計 画 概 要		
全体計画	令和2年度迄実績	令和3年度計画
<b>【篠原拡幅】</b> 総事業費 3,010百万円 H16～ L=1,900m W=13.0(25.0)m 用地買収 A=24,233㎡	事業費 1,100百万円 事業内容 委託：道路実施設計外 用地買収：18,364㎡ 事業進捗率 36.6% 用地買収進捗率 75.8%(面積)	事業費 54百万円(県単費) 事業内容 委託：物件再調査 1式 橋梁修正設計 1式 用地買収：350㎡ 事業進捗率 38.3% 用地買収進捗率 77.2%(面積)

〈箇所図〉



〈標準横断面図〉

